

【既定】	学校教育への支援	予算額 58,011 千円
【既定】	国際理解教育の推進	予算額 166,401 千円
【既定】	情報教育の推進	予算額 3,722,805 千円
【既定】	教職員の研修	予算額 9,843 千円

### 事業の目的・概要

子どもたちが自分らしい学びと多様な他者と協働する学びを一体的に進めることにより、生涯にわたって学び続ける力が育まれるよう、学校の教育活動を支援していきます。

また、児童・生徒1人1台専用タブレット端末と学習支援ソフトを効果的に活用し、複数の意見や考え、表現をグループや学級全体で共有することで、学びを広げ、学びを深めて他者と協働する学びを推進します。

### 主な取組内容

#### ➤ 学び続ける力を育む教育活動の支援

「杉並区教育ビジョン 2022」の実現に向け主体的に課題を解決しようとする探究的な学びを推進します。

研究指定した子供園や学校での教育課題研究のほか、小学校・中学校間を超えた教員等で構成されるグループによる実践的研究及び教育デジタルトランスフォーメーションの推進等の先行研究を進めます。また、児童・生徒1人1台専用タブレット端末や学習支援ソフトを活用することで、多様な他者と協働した学習を推進します。

#### ➤ 帰国・外国人児童生徒への支援

区立学校に在籍する帰国・外国人児童生徒は、年々増加しており、学校からの日本語指導の需要は増加しています。このため、学校に講師が訪問して日本語の指導（訪問・補充指導）を行うことにより、学習や生活に必要な日本語を学べるよう支援します。

また、学校での日本語指導に加えて学校外でも日本語を学びたい意欲のある児童・生徒を対象とした「子ども日本語教室」を文化・交流課及び杉並区交流協会と連携をしながら実施します。

#### ➤ 教員研修の実施

多様な子どもの学びと成長を支える教員の専門性を高めるため、学校それぞれの課題に応じた、校内研究・研修への支援、集合型研修のほか、授業等の指導・助言を行う訪問型要請研修により、教員を育成します。

また、教員一人ひとりのニーズに合わせて受講方法が選択できるよう、オンライン型の研修やオンデマンド型の研修のほか、実施した研修のアーカイブの公開などの取組を進めます。

➤ **学校のICT環境の整備・向上** **拡充**

児童・生徒向けには、1人1台専用タブレット端末の約10,000台を更新し、児童・生徒同士で意見交換をしながら授業を進められる学習環境を整備します。また、AI型学習ドリルの活用により、個々の学習習熟度に応じた学びを支援します。

学校教職員向けには、区立学校ネットワークの再構築が完了する令和7年9月から、教職員専用の新たな端末を導入することにより、教員の働く環境整備に取り組みます。



授業で電子黒板を使う様子